

片平流防災まちづくり 外国人住民と地域防災

Participation of Foreign Residents for Disaster Prevention in Katahira

公益財団法人 仙台観光国際協会

Sendai Tourism, Convention and International Association

堀野 正浩

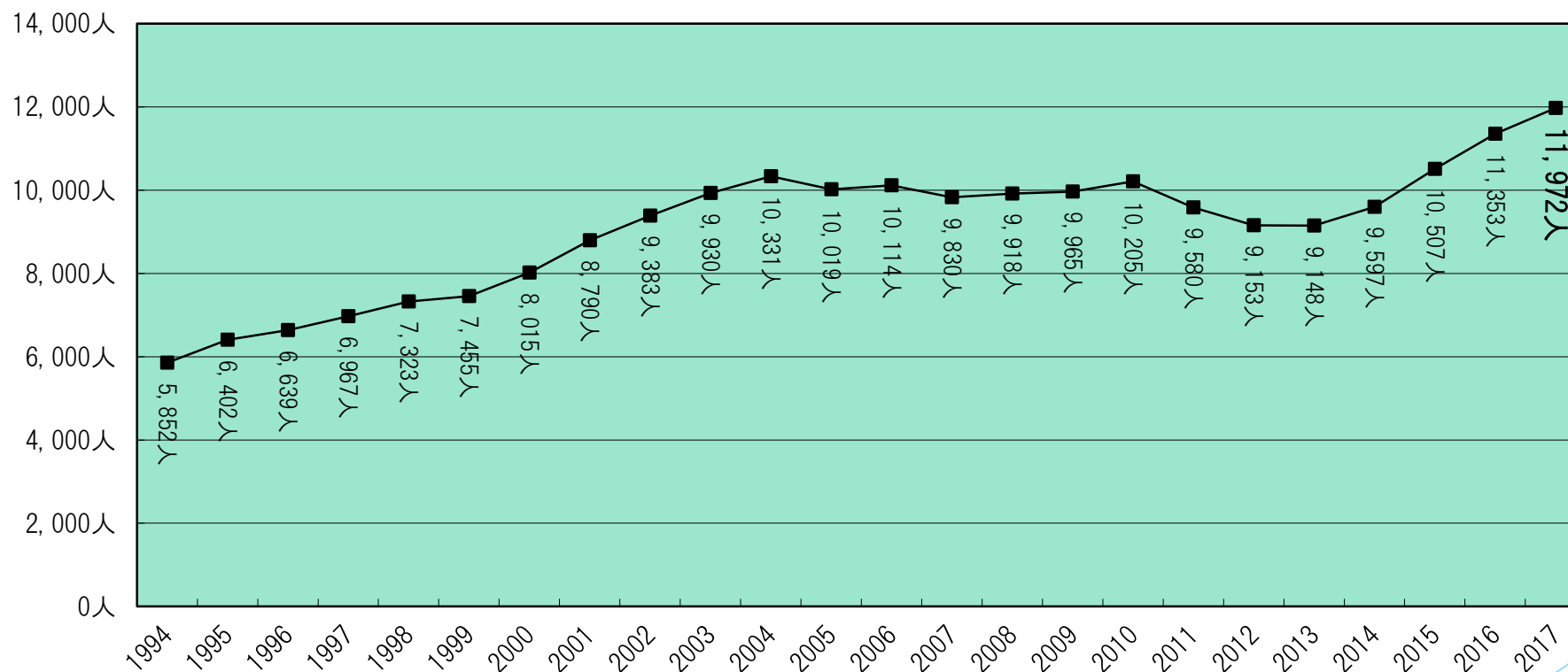
Masahiro Horino



仙台市の外国人住民について

Foreign Residents in Sendai

仙台市における外国人住民数の推移（各年4月末現在）



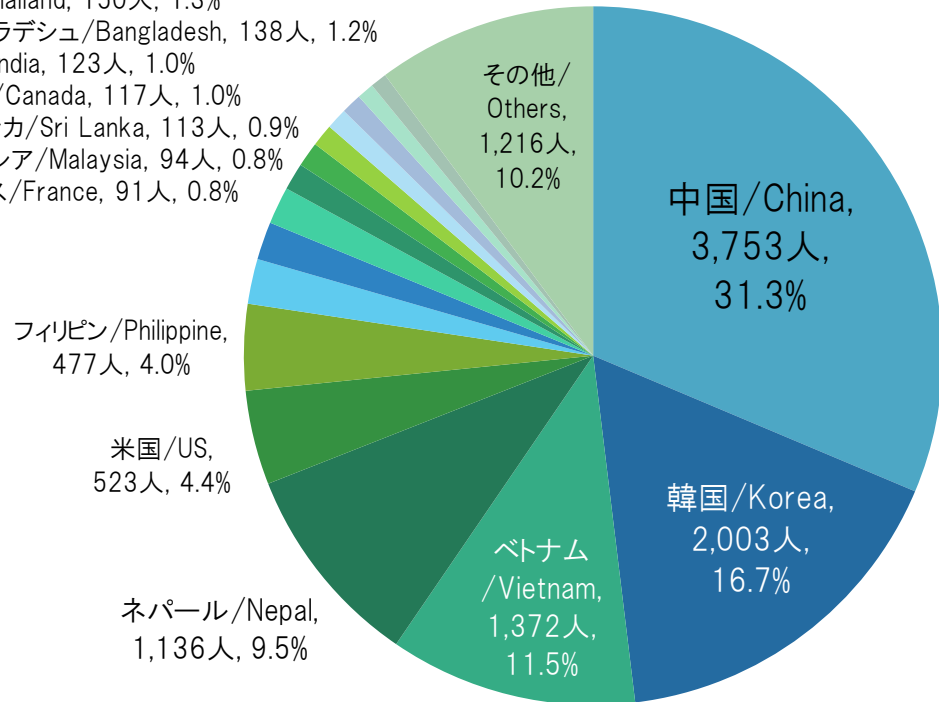
2017年4月末の外国人住民数 11,972人

仙台市の外国人住民について

Foreign Residents in Sendai

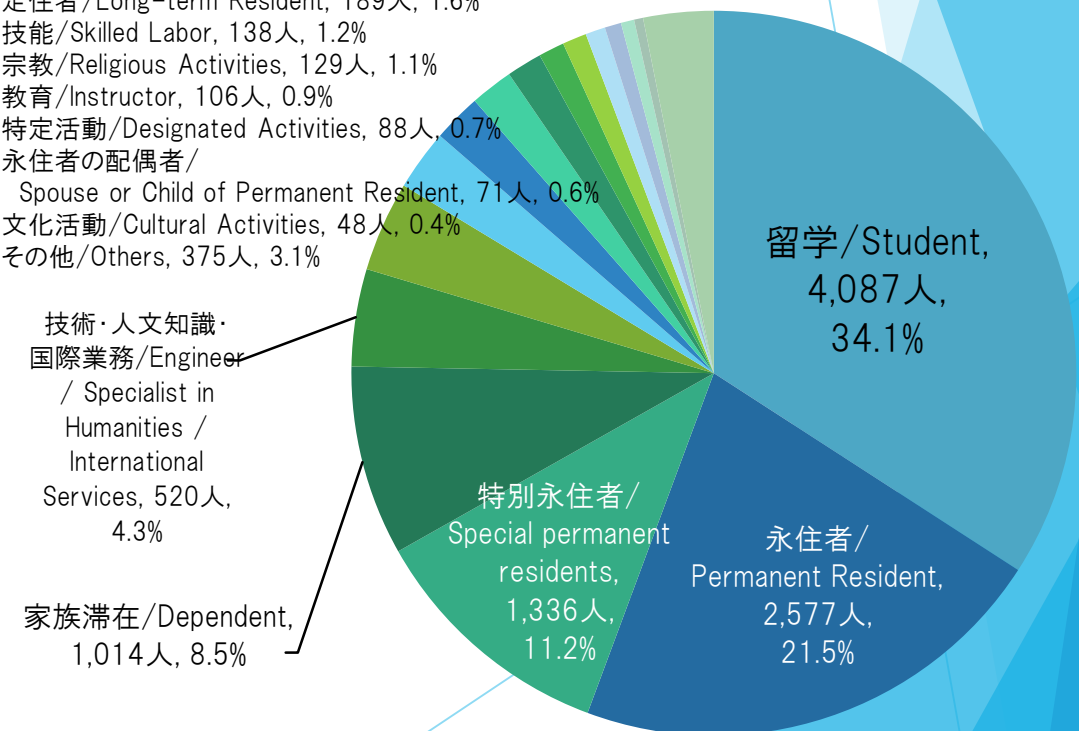
外国人住民の国籍別人数と割合 (2017.4.30)

インドネシア/Indonesia, 249人, 2.1%
 朝鮮/North Korea, 210人, 1.8%
 台湾/Taiwan, 207人, 1.7%
 タイ/Thailand, 150人, 1.3%
 バングラデシュ/Bangladesh, 138人, 1.2%
 インド/India, 123人, 1.0%
 カナダ/Canada, 117人, 1.0%
 スリランカ/Sri Lanka, 113人, 0.9%
 マレーシア/Malaysia, 94人, 0.8%
 フランス/France, 91人, 0.8%



外国人住民の資格別人数と割合(2017.4.30)

日本人の配偶者等/Spouse or Child of Japanese Nationals, 482人, 4.0%
 技能実習1号口/Technical Intern Training 1口, 324人, 2.7%
 教授/Professor, 259人, 2.2%
 技能実習2号口/Technical Intern Training 2口, 229人, 1.9%
 定住者/Long-term Resident, 189人, 1.6%
 技能/Skilled Labor, 138人, 1.2%
 宗教/Religious Activities, 129人, 1.1%
 教育/Instructor, 106人, 0.9%
 特定活動/Designated Activities, 88人, 0.7%
 永住者の配偶者/
 Spouse or Child of Permanent Resident, 71人, 0.6%
 文化活動/Cultural Activities, 48人, 0.4%
 その他/Others, 375人, 3.1%



片平地区の外国人住民について

Foreign Residents in Katahira

青葉区総人口 308,740人

青葉区の外国人住民数 約5,600人
(2017年4月現在)

- 青葉区の外国人住民の割合は約1.8%
- 片平地区だけで見ると、約4.8% (20人に1人)
- 大学、日本語学校に通う若い留学生たちが多く暮らしている
- 単身者だけでなく、家族で暮らしている人も増えている
- コンビニや飲食店のアルバイト等で働く人も多い



東北大学
ホームページ



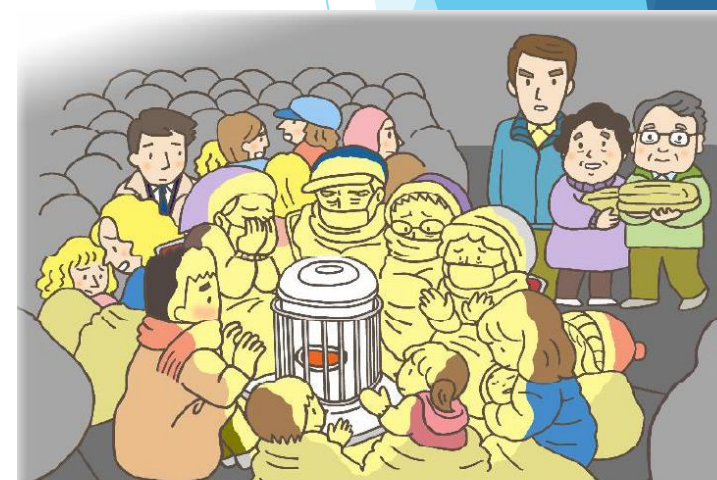
2017/10/18付
日本経済新聞 朝刊

片平地区の外国人住民について

Foreign Residents in Katahira

【2011年 東日本大震災】

- 多くの外国人住民が避難所に集まった
- 言葉や文化の違いから、摩擦やトラブル
- 避難所運営にも課題



【震災後】

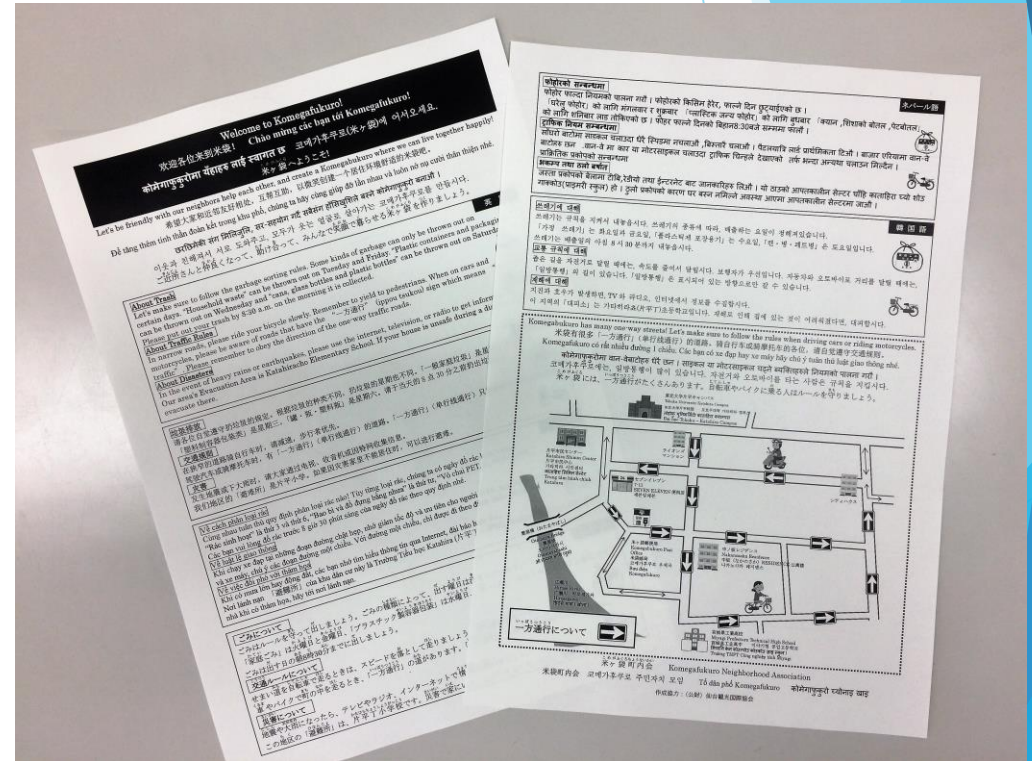
- 震災時の課題を検証
- 2012年から外国人住民を巻き込んだ防災訓練を開始
- 防災活動マップ英語版の配布、外国人住民の防災宝探しゲームへの参加など

生活情報の多言語化 Multilingualization of daily information

言葉や文化が異なる外国人住民に配慮し、地域の生活情報を様々な言語でも作成している



ごみ出しのルールを4言語（英語・中国語・韓国語・日本語）で説明した掲示物を、片平地区全域のごみ集積所に掲示。



米ヶ袋町内会で作成した「米ヶ袋へようこそ」。生活ルールなどの情報を6言語（英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・日本語）で説明している。一方通行が多い町内のマップも掲載。

外国人住民の地域イベントへの参加

Local Community Events involving foreign residents

地域で開催されるイベントには、留学生など外国人住民の参加を促し交流を図っている



花壇大手町で行われた餅つき大会（2014年12月）。留学生が町内の人たちと一緒に地域行事を体験。



片平地区まちづくり会主催の防災宝探しゲーム（2017年3月）。留学生も子どもたちと一緒に参加、地域の歴史や防災について学んだ。

外国人住民も参加する防災訓練

Disaster Prevention Training
involving Foreign Residents

毎年秋に実施される総合防災訓練には、仙台観光国際協会が運営を支援し、外国人住民も参加する



通訳ボランティアのサポートを受けながら、日本人住民と一緒に訓練に参加。地域内の交流のきっかけになっている。



霊屋下や米ヶ袋周辺で暮らすマレーシア学生のコミュニティは、炊き出し訓練で「ハラル」のスープづくりを担当。